

国民健康保険 保険者努力支援制度が始まります

平成 30 年度から、医療費抑制政策の一つとして、全ての国民自ら“がん”を含む生活習慣病を中心とした疾病の予防・合併症予防・介護予防・後発医薬品の使用や適切な受療行動をとること等を目指し始まる制度です。

また、評価指標の達成状況を点数化し、その点数に応じ、交付金などの支援が増える仕組み（もらえるお金が増えると町の保険税負担減）となっています。

なお、平成 28 年度からは、前倒しとして市町村を対象として実施されています。



この獲得点数を
全国および県内で見てみると…

全国順位	県内順位
1716 自治体中	45 自治体中
1610 位	45 位

県内最下位

【平成 28 年度実績に対する益城町交付金】

益城町への交付金	2,813,000 円
1 人当たり	496 円

※今後の保険税率に影響します

評価指標	平成 30 年度	平成 28 年度 前倒し分	益城町
各年度配点比較	850 点 (満点)	345 点 (満点)	140 点
主な指標内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診受診率 ・ 特定保健指導実施率 ・ がん検診受診率 ・ 糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況 ・ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用割合 ・ 重複服薬者に対する取組の実施状況 ・ 収納率向上に関する取組の実施状況 など 			

評価点数を上げるためにできること !!

1 特定健診等の受診率 UP

町の間ドック、ましき健診、特定健診を受けましょう（40～64 歳までの男性の受診率が 20% 台と低い）。

平成 30 年度目標：受診率 35%（平成 35 年度までに目標 60%）

2 特定保健指導の実施率 UP

健診結果で生活改善が必要とされた方は健診＋保健指導を受けましょう（間ドックの保健指導率が低い）。

平成 30 年度目標：特定保健指導実施率 58%（平成 35 年度までに目標 60%）

3 がん検診の受診率 UP

2 人に 1 人はがんと診断され、3 人に 1 人はがんで亡くなる現状です。働き盛りの世代の受診率が低い状況です。早期発見、早期治療のためにも検診を受けましょう（各種がん検診 20～30%で推移）。目標：受診率 50%

4 ジェネリック医薬品の使用

賢く選んで医療費の削除、自己負担の軽減に活用しましょう。

5 重複服薬をしない

重複服薬をしていないか、かかりつけ薬局でおたずねください。

目指そう 健診受診率 UP !

～益城町は国保の健診受診率 60%を目指します。達成まであと **1,560 人**～

閩住民保険課保険年金係 ☎ 286 - 3113 保健福祉センターはびねす ☎ 234 - 6123